

2023-12

アプローチにおけるハンドファースト・激スピンの真相に迫る!!
プロのようなスピニアプローチを簡単に習得可能!!

Teaching Pro ハンドファースト真相究明 登場!!



真相
究明

株式会社リンクス(代表取締役木村真一郎)は、真のハンドファースト、プロのような激スピニアプローチを習得できるウェッジ練習器「ハンドファースト真相究明」(ハンドファーストシンソウキュウメイ)を発売します。プロのようなスピンの効いた低弾道アプローチを簡単に習得可能。この練習器でハンドファースト、激スピンの真相を体感して下さい。



どうしてプロや上級者がグリーン周りのアプローチでスピンの効いた低い球(激スピニアプローチ)を多用するのか？

- ①最もウェッジのバウンス効果が発揮できるのでミスに強い。
- ②様々な場面や状況に対応しやすく、再現性が高い。
- ③スピンの効くので、ピンそばにキャリーさせやすい。

どうすれば激スピニアプローチが打てるのか？

プロのようなアドレスを作り、インパクト時に体の回転でハンドファーストを作り出す必要があります。
その時、左軸ではなくセンター軸でスイングする必要があります。



このように言葉で説明すればすごく難しいので、ティーチングプロ真相究明を使って習得する必要があります。



ティーチングプロ真相究明 使用方法

激スピンアドレスの正しい作り方3ステップ

STEP1 クラブをセンターに置きグリップする。ヘッドは右足前あたりへセット。

STEP2 グリップを左足前までずらしてハンドファーストにする。

STEP3 グリップのロゴが正面になるように握り直して完成。
(フェース面が右を向きますが、それがアプローチにおけるスクエアフェースです)

STEP
01STEP
02STEP
03

激スピンアドレスが
完成！

正しい激スピンアドレスが出来れば、その状態からボールが
低くまっすぐ飛ぶように練習するだけ！





スイングのコツ

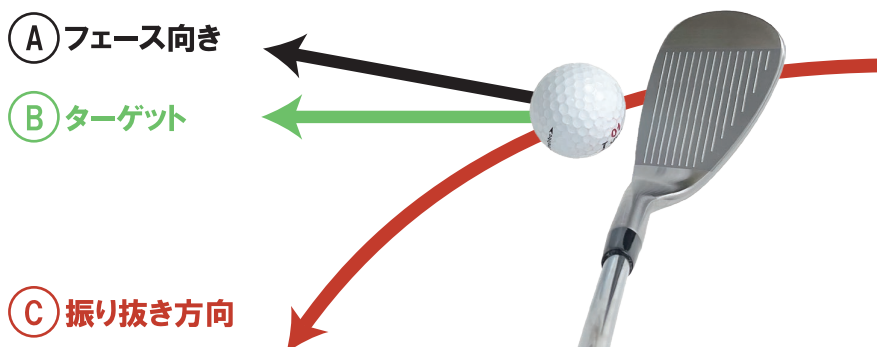
- ①下図のように左軸回転ではなく、センター軸回転でスイングします。
フィニッシュのグリップ位置に注目！



← 手の動き

← 肩の動き

- ②激スピンアドレスからC方向へ振り抜いた時、B方向（ターゲット）へボールが飛ぶイメージになります。



■ フルショットも基本はアプローチの延長で、同じスイングでOK！

スタンスが広くなり、ボール位置がセンターに寄るだけになります。
(必然的にハンドファーストが少なくなり、フェースの右を向く度合いも小さくなります。)

以上の要領でティーチングプロ真相究明を使い、ハンドファースト、激スピンの真相が理解できればアプローチはもう簡単。ご自身のウェッジでも同じイメージでスイングできるようになります。



商品仕様

ロフト : 60度 長さ : 35インチ 重量 : 465 g

素材

- ヘッド素材 : 431ステンレス
- シャフト : オリジナルスチールシャフト



- グリップ : オリジナルラバーグリップ



プライス

メーカー希望小売価格 : オープン

JAN : 4571190028960
TEACHING PRO ハンドファースト SHINSOU KYUUMEI

※ made in China